

令和3年度シラバス (教科・科目：芸術・書道Ⅱ)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2	選択

教科書	学習書・他教材
『書Ⅱ』 (教育図書)	なし

学習目標
書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲 (学習期間)
漢字の書 篆書・隸書・草書 の古典の学習 (17)	<ul style="list-style-type: none"> 書体の発生と変化を歴史的背景に関連させて理解する。 各書体特有の字形・運筆法を学び習得する。 	(前期中間)
作品制作 (18)	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭出品作品を制作する。 各々が篆書・隸書・草書の古典より題材を選び、個性豊かな作品を完成させ、鑑賞する。 篆刻 	(前期期末)
仮名の書 仮名古筆の学習 (17)	<ul style="list-style-type: none"> 散らし書き形式の古筆を学び、書の美しさを味わう。 小筆の使用に習熟し、太細・墨量の変化などを思いどおりに表現できる技術を身に付ける。 	(後期中間)
漢字仮名交じりの書 (18)	<ul style="list-style-type: none"> 思い入れのある言葉や文章を選び、これまでの学習内容を応用して、表現豊かな作品を制作し、鑑賞する。 冠婚葬祭の袋表書きや履歴書など、日常生活のなかで必要となる改まった書の形式を学び、学習を日常に生かせる技能を身に付ける。 丁寧に美しく書くことの大切さを認識し、日々の生活に役立てる。 	(後期期末)

70時間 (50分授業)

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	書表現の諸要素を感じ、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
総合的評価規準 以上の観点を踏まえ、授業の取り組み、出欠席・遅刻の状況、課題の提出状況等から評価します。			

授業の進め方、課題・提出物など
<ul style="list-style-type: none"> 定期考査は実施しませんが、随時、作品の提出を求めますので、必ず提出してください。 用具の準備・片付け等を含む学習活動に積極的な態度が必要です。

担当者からのメッセージ
“文字を書く”ことは、毎日の生活から切り離すことはできません。より美しく、自分らしく書けるためにも、まずは楽しんで取り組んでください。